

令和7年度 事業報告

I 事業の概況

白井市シルバー人材センターは、第7次基本計画（令和7年度～令和9年度）の初年度として、事業運営の方向性や計画目標を現状との整合性をとりつつ、高齢者の豊富な知識や経験を生かし、時代にふさわしい地域づくりへの貢献と、地域ニーズに応じた新規事業の獲得に取り組みました。魅力あるセンターとして、会員・役職員が一体となって、令和7年度の事業スローガンを「**会員と地域社会に密着した、持続力あるセンター**」として、事業活動を推進してまいりました。

社会環境は、人口減少と少子高齢化の進展、物価高騰、国際情勢の緊張、異常気象により多発する自然災害等の厳しい状況にあり、将来不安と新しい社会構造への対応が課題となっています。

収入面では、前年度に続き、10月から最低賃金の大幅改定がありました。当センターは、配分金改定の適用時期の早期実現を図るとともに、安定的な収益確保のため公共事業の就業も拡大し、令和7年度の事業実績は、請負・派遣合わせた契約金額が、前年度から約27百万円（12.7%）増の2億3,900万円超となり、第7次基本計画の初年度の目標も達成しました。

収支差額は、固定費の削減努力を行いましたが、物価高騰の影響や、人件費と税金負担の増加もあり、当初予算よりも悪化し▲4.5百万円で、3年連続の赤字を計上しました。

安全就業に関しては、安全パトロールをはじめ安全意識の向上に向け、積極的な活動を行いましたが、残念ながら前年度の事故件数を上回る結果となりました。熱中症による事故はありませんでした。

会員の状況については、入会説明会を毎月2日間実施しており、新規入会会員が着実に増えた結果、令和7年度末の会員数は496人（前年度比6人増）で、年度末ベースで過去最高となりました。男性会員も久々に増加し、女性会員は過去最高の状況です。

白井市では住民の高齢化が進み、シルバー会員の対象となる60歳以上の老年人口が35.4%を占めています。また当センター会員の平均年齢が75.9歳となり高年齢化が進むなか、シルバー人材センターとして地域社会の発展を支え、事業の継続的な拡大に取り組んでまいります。

II. 事業実施状況

1. 会員の増強 — 女性会員の拡大

① 会員の増強

- ・令和7年度の目標を大幅に上回り 496 人となった。新規入会会員数は直近 10 年間で三番目に多い人数となった。男性会員は令和2年度以降の減少が止まり、女性会員は6年連続で増加し、女性比率と共に過去最高となっている。

令和7年度末の会員状況

(単位：人)

年 度	会員数	男性	女性	入会	退会	女性比率	粗入会率
令和7年度実績	496	353	143	82	76	28.8%	2.27%
令和6年度実績	490	351	139	60	60	28.4%	2.27%
前年度比増減	6	2	4	22	16	0.4%	±0%
令和7年度目標	480	343	137			28.5%	2.3%

- ・事業企画部会を中心に、会員増強や退会抑制の方策を継続的に議論し実施に移している。会員定着と新規入会のハードルを下げることを目指して、夫婦会員の会費優遇制度（配偶者1人分を半額）の導入を検討し、令和8年4月から導入することにした。
- ・入会説明会への参加者にWeb入会申込者が増えてきている。

② 女性会員の拡大

- ・女性会員数は人数・比率ともに毎年順調に推移している。
- ・役員全体の40%を超える女性理事のみで構成する「女性部会」を中心にして、女性会員の活動領域の拡大と活動しやすい事業運営を企画することで、女性会員の拡充と就業機会の拡大を図ることを目指して、積極的に活動している。10月に15人の女性会員が参加し「ボッチャ大会」を開催し交流を図った。



(ボッチャ大会の様子)

- ・11月に、全シ協発行の女性活躍事例集「輝き続けるシルボンヌ（イメージアップと女性会員の入会促進を目指した造語）」に、当センター女性会員の活動に関するインタビュー記事が掲載された。

③ 広報活動の充実

- ・会報「シルバーしろい」を年2回発行し、当センターの活動内容や情報を会員に提供し、情報共有を目指した。記事の内容も刷新し、1月号からは、印刷物での配布を取り止め、原則的に電子データによる発信に切り替えた。
- ・白井市広報紙「広報しろい」に会員入会説明会の開催日程を毎月掲載し、広く市民に知らせている。
- ・新しく効果的なリーフレット、事業チラシとして、千シ連と連携し「豆パン」（3000部、無償）を作成し、地域社会との連携を深める機会として、北総線駅構内に設置されている「白井市からのお知らせ」ラックを利用して配布している。また、ポスティングにより「豆パン」等を市内各戸に順次配布している。



(白井駅のラック=左、豆パン（上）と通常のパムフレット（下）=右）

- ・10月に開催された「白井市ふるさとまつり」に参加し、従来からのアンケート調査と手工芸品の展示販売に加えて、ゲームコーナーを設けて若い世代の集客に成果があり、当センターの事業活動を宣伝した。



(白井市ふるさとまつりでの当センターブースの様子)

④ 市民向け講習会の実施

- ・「広報しろい」等に講習会の開催案内を掲載し市民に情報提供した。
- ・新たに実施した救命講習会を含め以下の 11 講座を 27 日間で計画どおり開催し、延べ 142 人の参加があった。受講者からは概ね好評を博している。
草刈機取扱講習会、植木剪定技能講習会、スマートフォンの使い方講習会、水まわり補修講習会、パソコン講習会、網戸張替講習会、障子張替講習会、襖張替講習会、刃物研ぎ講習会、手工芸講習会、救命講習会。
- ・講習会の終了時（回答率 98%）及び 6 ヶ月後（回答率 72%）に講習内容についての受講者アンケートを実施し、今後の講習会開催計画、講習内容に反映させている。



（網戸張替講習会＝左、植木剪定技能講習会＝右）

⑤ ホームページ（HP）の充実

- ・HPにて、会員入会説明会や講習会日程、お仕事情報など会員向けの最新情報を発信している。
- ・HPのコンテンツとして「Smile to Smile」（通称：スマスマ）の運用を開始し、会員と事務局間の連絡の利便性を一層向上させるとともに、「フリーランス新法」で義務化された契約条件の事前明示に活用している。

⑥ 同好会サークル活動

- ・自主的な運営による同好会サークル活動を通じて、同じ趣味を持った会員の交流を図り、会員同士の繋がりを深めて健康増進と会員定着を進めた。

2. 安全就業の推進

① 安全就業の推進

- ・「事故発生状況ボード」の設置、安全パトロール、安全部会の活動を積極的に実施しているが、残念ながら発生事故件数は 14 件で、前年度（8 件）を上回った。
但し、今年度から保険適用外の事故（6 件）も件数に加えている。

令和7年度の事故発生件数

事故の種類	令和7年度	令和6年度	前年度比増減
就業中の傷害事故	9件	4件	5件
就業途上の傷害事故	2件	0件	2件
就業中の物損事故	3件	4件	▲1件
合 計	14件	8件	6件

- ・前年度は未発生だった除草作業中の「蜂刺され」事故が7件（7月4件、9月2件、10月1件）と急増した。対策として「ポイズンリムーバー」の携行、事故情報の会員への連絡を実施した。千葉県内でも「蜂刺され」事故件数が問題となっている。
- ・多発していた飛び石事故は2件に減少し、就業中の熱中症による事故はゼロとなった。3年連続で無事故だった就業途上事故が発生した。
- ・就業中の事故、就業途上の交通事故をゼロにするために、安全パトロールを計画的に実施し、就業中の事故防止・熱中症予防に努めた。安全パトロール実施の就業個所 延べ10ヶ所 合計4日（除草、梨選果場、駐輪場、植木剪定）。

② 安全意識の徹底

- ・会員入会説明会時に、健康管理・安全就業及び適正就業の重要性を徹底した。
- ・事故ゼロの継続日数と事故発生件数の表示を当センター内に掲示した。
- ・無事故会員に対する表彰制度を検討したが成案には至っていない。
- ・令和8年度から3年間の安全就業標語を会員に募集し、次の標語に決定した。
安全就業標語 ～ 問題は 仲間や会社に 報・連・相 ～

③ 健康管理の徹底

- ・令和8年1月、全会員にアンケートを実施し健康状態の確認を行った。
- ・猛暑時の熱中症対策として、水分の摂取、職場での見守り、休憩の取得など予防策を告知し、就業中の会員の見回りを実施した。また、就業先への対策の協力をお願いした。
- ・全シ協による最近の追跡調査で、全国のシルバーセンターでの就業がフレイル抑制に効果があるとの報告があった。分析の結果、シルバー会員は地域高齢者に比べフレイルの発生リスクが34%軽減することが明らかになった。

3. 就業機会の拡大と就業人員の増加

① 就業先の確保

- ・地域密着の仕事を、民間事業所、農家、家庭及び白井市等から引き受け、会員に請負、派遣の形式により提供する事業を展開した。
- ・「お仕事情報」は、毎月実施の会員入会説明会で説明資料として活用している。

令和7年度の受注件数と契約金額、就業人員の状況

	合計	請負	派遣	前年度実績	前年度比
受注件数 (件)	1,199	1,145	54	1,101	108.9%
契約金額 (百万円)	240	154	86	212	112.8%
就業実人員 (人)	502	355	147	481	104.4%
就業延人員 (人日)	41,730	29,825	11,905	40,579	102.8%

- ・前年度を上回る受注件数と就業実人員の確保を目指した。その結果、受注件数 1,199 件と就業実人員 502 人で、前年度比 109%と 104%と共に増加し、就業延人員も 41 千人日を大幅に超えた。
- ・新規入会会員の優先的な就業先確保を目指した。入会 3 か月以内に就業した新会員の割合は前年度の 53%から 70%に増加した。

② 就業機会の創出

- ・就業・未就業を問わず就業内容について、会員から随時相談に応じている。
- ・募集中の就業先を「お仕事情報」として月 2 回作成し、ホームページの「Smile to Smile」で情報を更新・公開し、メールでも配信している。
- ・新規就業先の開拓及び既存契約就業先での人員増加依頼により継続的強化を図った。
- ・安定的な公共事業の就労拡大を目指し、印西クリーンセンターの廃棄物分別作業、市内小中学校の除草の仕事を新たに開始。公共事業の受注金額は前年比 21.5% (11.4 百万円) 増加した。
- ・新総合事業は、家事支援サービスの有資格者の会員数が増加した。
- ・市役所関連、工業団地、団地管理組合及び一般家庭に対して、機会あるごとに当センターの事業内容の理解を求め、就業の機会を拡大した。

③ 会員の意識調査の実施

- ・令和 8 年 1 月に会員への「現在の状況アンケート」を実施し、未就業会員の意向調査を実施した。

4. 事業基盤と財務基盤の強化 — リスク管理

① 事業基盤と財務基盤の強化

- ・契約件数：請負事業を中心に、印西クリーンセンターの廃棄物分別作業、市内小中学校の除草作業などで公共部門が前年度比 50%以上増加し、全体で約 1,200 件の契約件数となった。
- ・契約金額：全体で 239 百万円を超え、前年度から 27 百万円以上増加した。最低賃金の上昇に伴う時間単価の改定が寄与した。また、選挙関連業務も増加した。

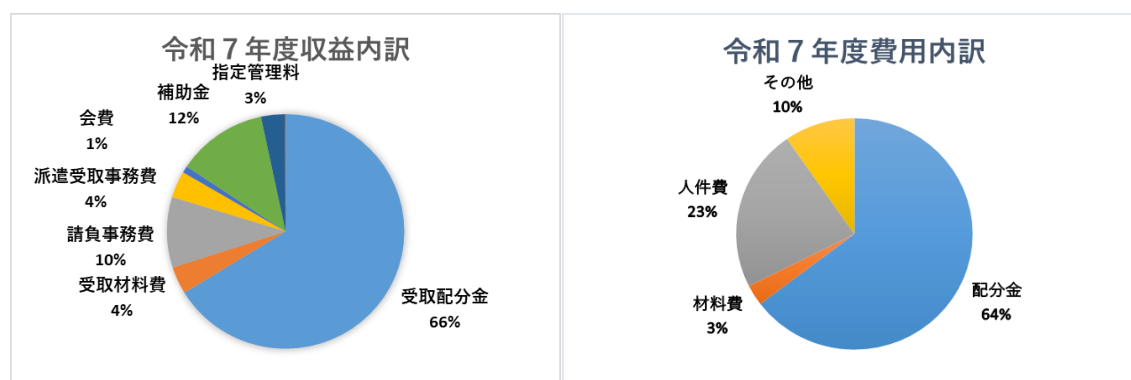
- ・**請負事業**：就業実人員数は3%弱の増加だが、公共部門で金額20%超の増加で、約154百万円となった。
- ・**派遣事業**：件数はわずかに減少したが、金額は11%増となった。

・**令和7年度の事業実績（契約件数と金額）**

（金額 単位：千円）

項 目	令和7年度		令和6年度		前年度比増減		7年度目標
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額
請負・独自事業	1,145	153,624	1,043	135,531	102	18,093	140,000
派 遣 事 業	54	85,947	58	76,894	▲4	9,053	86,000
合 計	1,199	239,571	1,101	212,425	98	27,145	220,000

- ・**収支結果**：収入は192百万円超（前年度比19百万円増）となったが、費用が197百万円（同比21百万円増）で、収支差額は▲4.5百万円で3年連続の赤字となった。



- ・10月から千葉県の最低賃金が1,076円から1,140円に改定されたため、配分金の時間単価の改定を実施した。今年度から白井市役所との請負契約でも、同時期に改定後の最低賃金が適用されることになった。受取配分金が前年度比15百万円の増加が大きかった。

② 制度や法律改正への対応と遵法主義の徹底

- ・公益社団法人としての法令・規則・ルールを明確化し、日頃の就業及び業務において遵法主義を徹底した。
- ・発注先との契約形態について協議を重ねて、「業務仕様書」を作成する等、請負委任契約及び派遣契約内容の健全化を図っている。
- ・**インボイス制度への対応**： 令和8年10月から第二段階になり、新たな税負担を当センターが引き受けるため、令和8年4月から請負事業における事務費率を20%に引き上げることとして、発注者と交渉した。
- ・**「フリーランス新法」への対応**： 令和6年11月に施行された新法に伴い、「新しい契約方式」への移行準備を進め、令和8年4月から移行することで、会員・発注者への周知を行った。

- ・ 公益法人制度改正への対応： 令和7年4月から公益法人制度が変わったため、「財務規律の柔軟化・明確化」、「自律的なガバナンスの充実、透明性の向上」等、制度改正の趣旨に沿って、定款変更と外部理事・監事の導入、会計制度の変更の準備を行った。

③ 独自事業の推進

- ・ 新たな独自事業の創出にいたってはいないが、既存の独自事業として、手工芸班は、毎週水曜日、金曜日に活動し、手作り小物、洋服のリメイク、リフォームの製作販売を実施している。
- ・ 9月の福祉センターまつり、10月の白井市ふるさとまつりの会場において、手工芸班が製作した作品の展示販売を実施し、前年以上の成果を得た。

④ 事務局体制の強化

- ・ 業務システム「エイジレス 80 ネクスト」の導入以降、職員の多能化を進め、能力向上と事務効率化に継続して務めた。ICT委員会と連携して、事務局の勤怠管理のDX化を実施した。
- ・ 人事評価制度により適正な人事評価を行い、職員のモチベーションアップにつなげている。

⑤ 高齢者就労指導センターの指定管理運営事業

- ・ 指定管理業務契約に基づき、地域高齢者に好評な植木剪定講習会等を開催し、延べ142人が参加した。
- ・ 指定管理事業遂行にあたり、労働社会保険諸法令の遵守状況について当センターの労働条件審査が実施された。指摘事項の是正のため、当センターの規程改正等の必要措置を行った。白井市への最終報告書では、おおむね良好で法令違反なしと評価された。
- ・ 2月の白井市市議会で令和9年度以降の指定管理事業を行わないことが決定したので、将来の事業運営等の在り方について白井市と協議を進めている。

以 上

Ⅲ．会議等の開催と議決報告

1．総会

会議の名称	開催日	議 題 等
定時総会	6 月 13 日	報告事項 ・報告事項 1 令和 6 年度監査報告 ・報告事項 2 令和 6 年度事業報告 決議事項 ・第 1 号議案 令和 6 年度決算について

2．理事会

会議の名称	開催日	議 題 等
第 1 回 理事会	5 月 15 日	1) 令和 6 年度事業報告について 2) 令和 6 年度決算について 3) 令和 6 年度決算監査について 4) 令和 7 年度定時総会の開催について ①開催の決定 ②開催時会員数確認 ③総会議案 第 1 号議案 令和 6 年度決算について ④総会に出席しない会員の書面による 議決権行使、及び委任状の提出期限 ⑤進行及び業務分担等 ⑥定時総会召集通知
第 2 回 理事会	7 月 17 日	1) 令和 7 年度専門部会担当一覧について
第 3 回 理事会	9 月 18 日	1) 最低賃金の動向と令和 7 年 10 月以降の 契約単価 2) 第 44 回白井市ふるさとまつり参加
第 4 回 理事会	11 月 13 日	1) 会員業務就業規約と利用規約の制定について
第 5 回 理事会	1 月 16 日	1) 事務費規程の改正について 2) 理事及び監事候補者推薦委員会の立上げ について 3) 職員就業規則等の改正について
第 6 回 理事会	3 月 12 日	1) 令和 8 年度事業計画について 2) 令和 8 年度収支計画について 3) 令和 8 年度役員賠償責任保険加入について て 4) 重要な職員人事について 5) 夫婦会員制度と夫婦会員の会費内規の制 定について

3. 当センターの会議、説明会等

開催日		内 容
4 月	1 日	三役会
	7 日	事業運営統括会議
	9.10 日	会員入会説明会
	16 日	刃物研ぎ講習会
	18 日	白井市副市長表敬訪問
	23 日	水廻り補修講習会
5 月	1 日	三役会
	7 日	網戸張替講習会
	12.13 日	会員入会説明会
	13 日	監事監査
	16 日	安全パトロール（駐輪場管理作業）
	22 日	草刈機取扱講習会（春）
6 月	3 日	三役会
	4 日	事業運営総括会議
	5.6 日	植木剪定技能講習会（春）
	10.11 日	会員入会説明会
	13 日	永年会員表彰
	17 日	千葉県シルバー人材センター連合会 定時総会
	24 日	全国シルバー人材センター事業協会 定時総会
7 月	25.26 日	パソコン講習会（ワード）
	1 日	三役会
	3 日	安全パトロール（除草作業）
	3.4 日	パソコン講習会（エクセル）
	9.10 日	会員入会説明会
	16 日	救命講習会
	16 日	白井市長訪問
8 月	22 日	令和 7 年度安全・適正就業推進員研修会
	1 日	三役会
	5.6 日	会員入会説明会
	7.8 日	手工芸講習会
	20 日	安全パトロール（白井中央梨選果場・出荷業務）
	21.22 日	パソコン講習会（ワード）
9 月	1 日	三役会
	3.4 日	パソコン講習会（エクセル）
	10.11 日	会員入会説明会
	24 日	スマートフォン使い方講習会
10 月	1 日	三役会
	6 日	事業運営統括会議
	8 日	草刈機取扱講習会
	8 日	印旛地域グループ協議会

	8.9日	会員入会説明会
	18日	女性部会・ボッチャ大会
	22.23日	植木剪定技能講習会
11月	4日	三役会
	10.11日	会員入会説明会
	11日	監事中間監査
	13日	安全パトロール（植木剪定作業）
	19日	障子張替講習会
	20.21日	襖張替講習会
12月	1日	三役会
	3日	事業運営統括会議
	3日	刃物研ぎ講習会
	10.11日	会員入会説明会
	18日	救命講習会
令和8年 1月	5日	三役会
	10日	白井市長への新年挨拶
	13.14日	会員入会説明会
	16日	第15期理事及び監事候補者推薦委員会（第1回）
	21日	スマートフォンの使い方講習会
2月	2日	三役会
	4日	事業運営統括会議
	4日	第15期理事及び監事候補者推薦委員会（第2回）
	12.13日	会員入会説明会
3月	2日	三役会
	9.10日	会員入会説明会
	12日	第15期理事及び監事候補者推薦委員会（第3回）

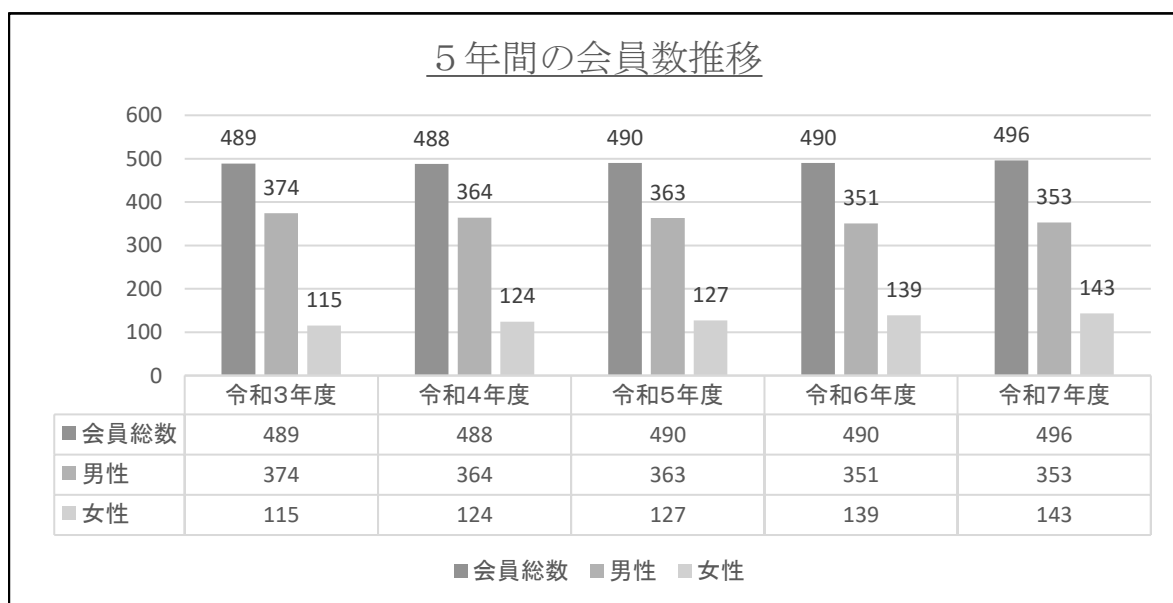
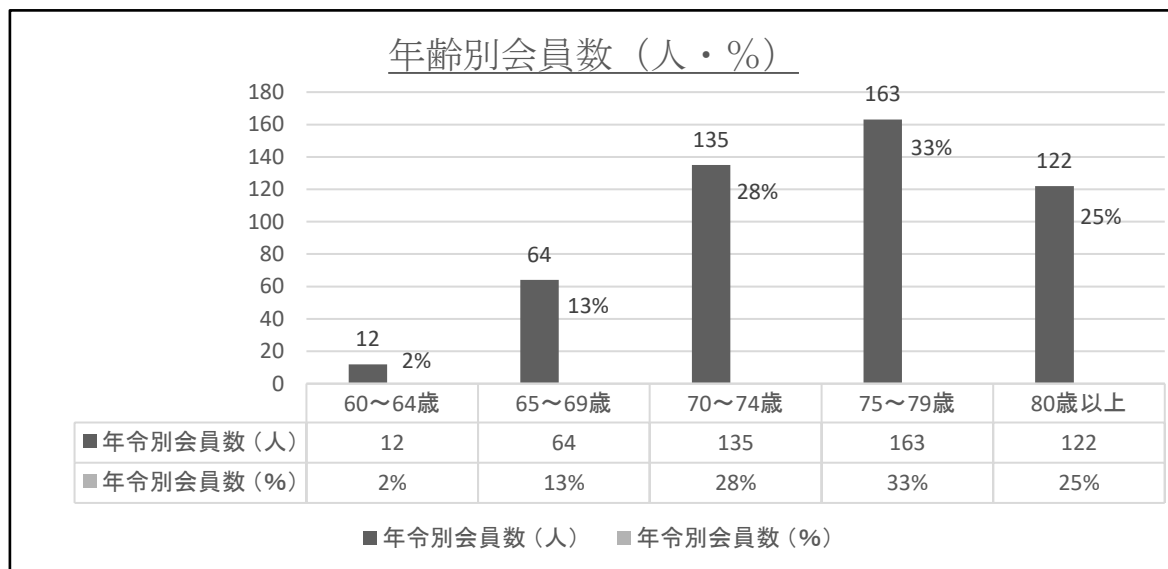
IV. 会員の状況と事業実施状況

1. 会員の状況

(1) 年齢別区分及び年齢別就業状況

令和8年3月31日現在

区分 年齢別	会員数(人)			就業会員数(人)			<平均年齢> 男性:76.4歳 女性:74.6歳 全体:75.9歳 <最高年齢> 男性:89歳 女性:87歳
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
60～64歳	4	8	12	2	2	4	
65～69歳	43	21	64	32	13	45	
70～74歳	91	44	135	63	29	92	
75～79歳	121	42	163	83	29	112	
80歳以上	94	28	122	80	21	101	
合 計	353	143	496	260	94	354	
前年度末	351	139	490	251	90	341	



2. 事業実施の状況

(1) 請負・委任 事業実績

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

		受注件数 (件)	就業延人 (人日)	契約金額（千円）				構成比 (%)
				配分金	材料費	事務費	合 計	
公共事業		62	12, 717	51, 695	3, 305	7, 629	62, 629	40. 8%
民間事業	企業等	136	10, 272	43, 342	207	6, 329	49, 878	32. 5%
	家庭等	945	6, 706	32, 078	3, 881	4, 855	40, 814	26. 6%
	独自事業	2	130	276	0	27	303	0. 2%
	小 計	1, 083	17, 108	75, 696	4, 088	11, 211	90, 995	59. 2%
合 計		1, 145	29, 825	127, 391	7, 393	18, 839	153, 624	100. 0%
前年度		1, 043	29, 040	112, 340	6, 531	16, 659	135, 531	

(2) 派遣事業実績(連合会勘定)

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

	受注件数 (件)	就業人員数(人)		契約金額(千円)			受取事務費(千円)
		実人員	延人員	賃金等	手数料等	合 計	
公共	2	—	218	1,294	400	1,695	—
民間	52	—	11,687	67,618	16,635	84,253	—
合計	54	147	11,905	68,912	17,035	85,947	7,046
前年	58	139	11,539	62,034	14,860	76,895	6,346

(3) 仕事の分類別実績

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

仕事の分類別(*)	請負・委任事業			派遣事業(連合会勘定)			合 計		
	受注件数	就業延人員	契約金額	受注件数	就業延人員	契約金額	受注件数	就業延人員	契約金額
	(件)	(人日)	(千円)	(件)	(人日)	(千円)	(件)	(人日)	(千円)
管理的職業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門的・技術的職業	116	618	3,577	1	314	946	117	932	4,523
事務的職業	2	263	1,496	11	3,867	25,138	13	4,130	26,634
販売の職業	0	0	0	2	207	1,398	2	207	1,398
サービスの職業	108	6,931	22,346	10	1,879	13,353	118	8,810	35,699
保安の職業	2	1,787	3,960	0	0	0	2	1,787	3,960
農林漁業の職業	425	3,219	23,221	2	178	760	427	3,397	23,981
生産工程の職業	21	1,369	5,354	10	1,605	14,304	31	2,974	19,657
輸送・機械運転	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設・採掘の職業	14	263	756	0	0	0	14	263	756
運搬・清掃・包装等	457	15,375	92,914	18	3,855	30,048	475	19,230	122,962
合 計	1,145	29,825	153,624	54	11,905	85,947	1,199	41,730	239,571
前年度	1,043	29,040	135,531	58	11,539	76,895	1,101	40,579	212,426

*全国シルバー人材センター事業協会の分類に準拠

5年間の契約金額推移

(金額単位：千円)

